

大変です。遠賀川のゴミ!!

洪水の後、遠賀川から大量のゴミが流れ着きます。-

遠賀川の最下流に位置する河口堰には、大雨が降って洪水になる度に、遠賀川流域のゴミ(塵芥)が大量に流れ着きます。



岸に寄せたゴミには、大量のペットボトルが

このゴミを放置すると

- ゴミがゲートにはさまると、ゲートが動かなくなる恐れがあります。
- 水質が悪化し、匂いを取らないと飲めなくなったり、魚類等生物へ影響がでたりします。
- 海へ流出すると、船舶等の航行にも支障になります。

ゴミの回収方法

- 1 船(こすもす号)とフェンスを利用してゴミを囲み、岸の近くに移動します。



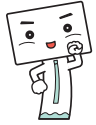
フェンスを引いてゴミを集める船



岸に向かう船



網場のゴミを岸に引き寄せる船



- 2 パワーショベルで水から上げます。



岸に引き寄せたゴミを水から引き上げるパワーショベル

こすもす号は、流れついたゴミを集めて回収します。小さな体ですが、大量のゴミをフェンスを引いて集めています。

流れてくるゴミが、ゲート操作の支障になるのを防ぐため河口堰の上流に網場を設置しています。



- 3 人力によるゴミの分別



手作業による分別作業



分別作業中のゴミ

毎年、約3000m³ものゴミを回収しています。

ゴミの多くは木や草ですが、ペットボトルや発砲スチロール等の生活ゴミが多く流れてきます。家庭ごみと同じで分別しないと処分できません。

なぜ、ゴミが流れ着くのでしょうか?

大雨が降ると川の景色は一変します。川の水位が上がり、河川敷に捨てられていたゴミは下流へ流されます。側溝にポイ捨てされたゴミも雨が降ると流され、水路、川へと流れて行き、最後はぼう大な量となって河口へ集まります。



普段の遠賀川



洪水時水位が上がった遠賀川



河口堰に貯められた水は飲み水に使われます。

川は海につながっています。ゴミを捨てるのはやめましょう。

